

平成28年度決算の概況

上下水道局の
お財布事情を
ご紹介します！

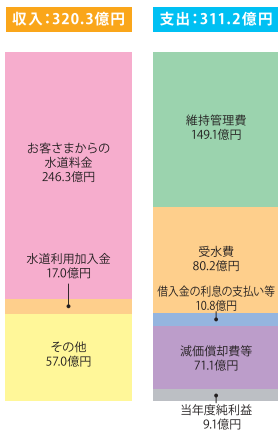


上 水道事業

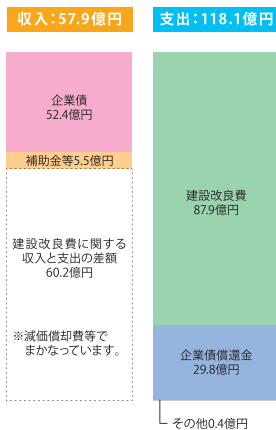
水道は、都市の基幹施設であることから、安全で良質な水を安定して供給するとともに、災害時における安定供給の確保に向けて取り組んできました。水需要については人口が年々増加しており、家事用等の使用では微増傾向にあります。大口の使用では産業構造の変化により減少傾向にあるため、水需要全体で見るとほぼ横ばいで推移しています。また、「川崎市水道事業中期計画」に基づき、東日本大震災を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新・耐震化、小・中学校等への開設不要型の応急給水拠点の整備などに取り組んできました。

一方、財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことから、当年度純利益を計上するとともに、単年度資金残額が生じました。今後も水道施設や管路の更新、耐震化等に伴う建設改良費が必要となりますが、これまでの累積資金の活用等で対応していきます。

水道事業の運営に関する収入と支出



水道施設の建設改良等に関する収入と支出



建設改良費の主な使い道

老朽化した水道管の耐震化や更新	約48.3億円
配水池・配水塔等の基幹施設の耐震化や更新	約14.3億円



水道管布設替工事



基幹施設(末吉配水池)の更新工事

財務課[水道財務] ☎ 044-200-3106 ㊚ 044-200-0376

下 水道事業

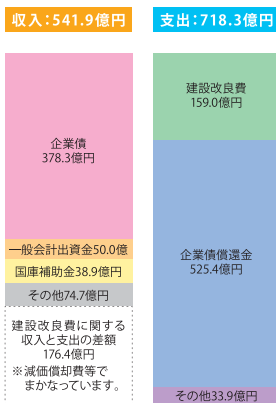
下水道は、市民の快適な生活環境の実現と公共用水域の水質保全及び雨水排除等のために欠くことのできない都市の基幹施設であり、「川崎市下水道事業中期計画」に基づき、東日本大震災や近年の気候変動に起因する局地的な集中豪雨を踏まえた地震・津波対策や浸水・ゲリラ豪雨対策、さらには、老朽化対策、高度処理、合流改善、地球温暖化対策など、下水道が抱える課題を解決するための様々な取組を確実に進めてきました。

一方、財政面では、下水道経営の健全化を図るため、事業運営の効率化に努めてきたことなどにより、当年度純利益を計上することができましたが、過去の建設投資の影響により、未だ企業債残高は高い水準にあり、依然として厳しい財政状況にあります。

下水道事業の運営に関する収入と支出



下水道施設の建設改良等に関する収入と支出



建設改良費の主な使い道

管きよや水処理センター・ポンプ場の地震対策、老朽化対策及び高度処理施設の整備	約117.8億円
大師河原貯留管の整備など、合流改善や浸水対策	約24.1億円



管きよの更生による重要な管きよの耐震化



大師河原貯留管

*汚水処理は下水道使用料で、雨水の排除は税金(一般会計繰入金)で負担する仕組みとなっています。

財務課[下水道財務] ☎ 044-200-2887 ㊚ 044-200-0376

上下水道局のウェブサイトでご覧いただけます。川崎市上下水道局 応急給水拠点 検索